

NPOの 民間福祉活動に 役立つヒント集



平成28年12月

独立行政法人 **福祉医療機構**

NPOリソースセンター



はじめに

独立行政法人福祉医療機構（WAM）は、民間団体が実施する福祉活動に助成を行っており、平成2年の事業開始以来、通算で約13,000件、助成総額は約700億円にのぼります。助成事業開始からの25年間で、民間団体による福祉活動の役割は大きく変化しています。平成10年に特定非営利活動促進法が施行されたことで、非営利活動を行う団体が法人格を取得できるようになりました。平成28年9月末には特定非営利活動法人（NPO法人）の数は51,260にのぼり、その存在感は飛躍的に大きくなっています。

NPOは、既存の制度やサービスの枠にとらわれず、社会課題の解決を目指し、新しいサービスや仕組みを作り出すことができます。地域において、問題の本質を見極めて解決策を打ち出し、実行・検証する—その過程で多くの市民や企業、行政と協力することで、社会課題を解決するだけでなく、新しい社会的価値を創造することにもつながります。

この冊子では、これまでの福祉医療機構の助成（WAM助成）や事業評価を通して得られたノウハウを、団体の皆さんに活動や運営の際の参考としていただけるよう取りまとめました。助成事業を実施されている団体の皆さんはもちろん、今後事業を計画しようとお考えの皆さんにもご覧いただき、活動の一助となりましたら幸いです。



平成28年12月
独立行政法人福祉医療機構
NPOリソースセンター

コンテンツ

① 中長期計画に基づく事業計画	4
② 団体自身と、とりまく環境を把握	6
③ 活動の具体化に向けて	8
④ 事業計画の検証と進捗確認	10
⑤ 情報発信のコツ	12
⑥ 支援対象者に活動を届ける	14
⑦ 効果的な連携	16
⑧ 協力者を増やす	18
⑨ 事業の継続に向けて	20
⑩ NPO法人の収益はどのくらい	22
⑪ NPO法人の収益構造の姿	24
⑫ ファンドレイズについて	26
⑬ NPOの人材マネジメント	28
⑭ 会費・寄付金集めのヒント	30
⑮ 事業継続のための組織基盤強化	32
付録：リソースインデックス	34

この冊子の順路

この冊子では、これまでの助成事業の事例から得られた情報をもとに、事業を実施する各段階で「気をつけていただきたいところ」をまとめています。

